



つのもちよう

第61号

議会だより



芽吹きを待つ山焼き後の天狗高原

3月定例会

令和2年5月1日発行

主な紙面

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎公孝
印刷 刷 (有)笹岡印刷所

令和2年度一般会計予算…………… 2P～3P
施政方針・教育行政方針…………… 11P～12P
町政を問う（5人が一般質問）…………… 13P～21P

令和2年度一般会計予算

76億7,000万円

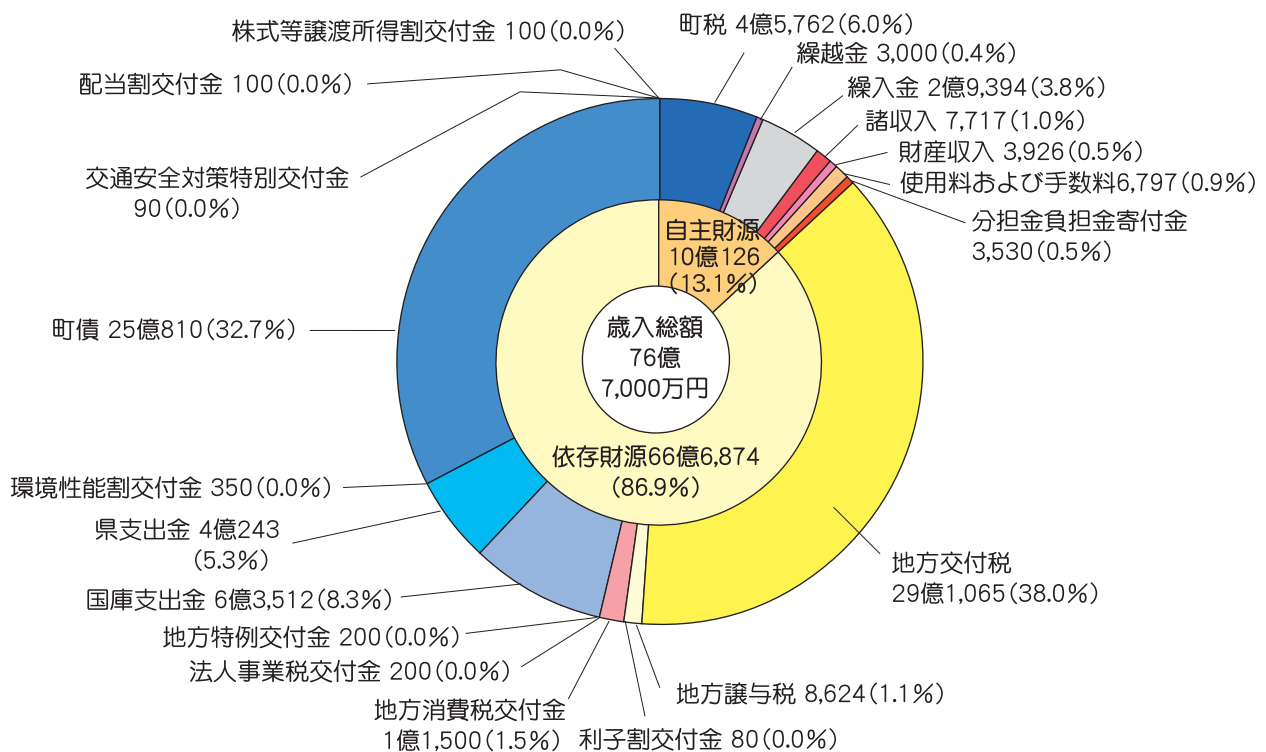
対前年度
14億5,600万円
(23.4%)増

3月定例会は、5日から12日までの8日間開かれ、町長の施政方針、教育長の教育行政報告、専決処分の報告4件、令和元年度補正予算、令和2年度一般会計予算及び各特別会計予算、条例改正等32議案を原案のとおり可決、人事案件12件、名誉町民1件を同意した。

一般質問には5人が立ち、新型コロナウイルス対策、子ども子育て支援制度、地域活動の現状、令和2年度の工事発注見通し、農業観光振興等について執行部をたどした。

一般会計予算歳入構成

(単位 万円)



歳入(収入)

● 地方交付金

地方税収が不足するため標準的な行政運営に支障をきたす自治体に対して、一定の基準で国から交付される税金。

● 国庫支出金

各種事業を実施するための国からの負担金や補助金。

● 県支出金

各種事業を実施するための県からの負担金や補助金。

● 繰入金

必要な財源を確保するため、基金(町の預金)から繰り入れるお金。

● 町債

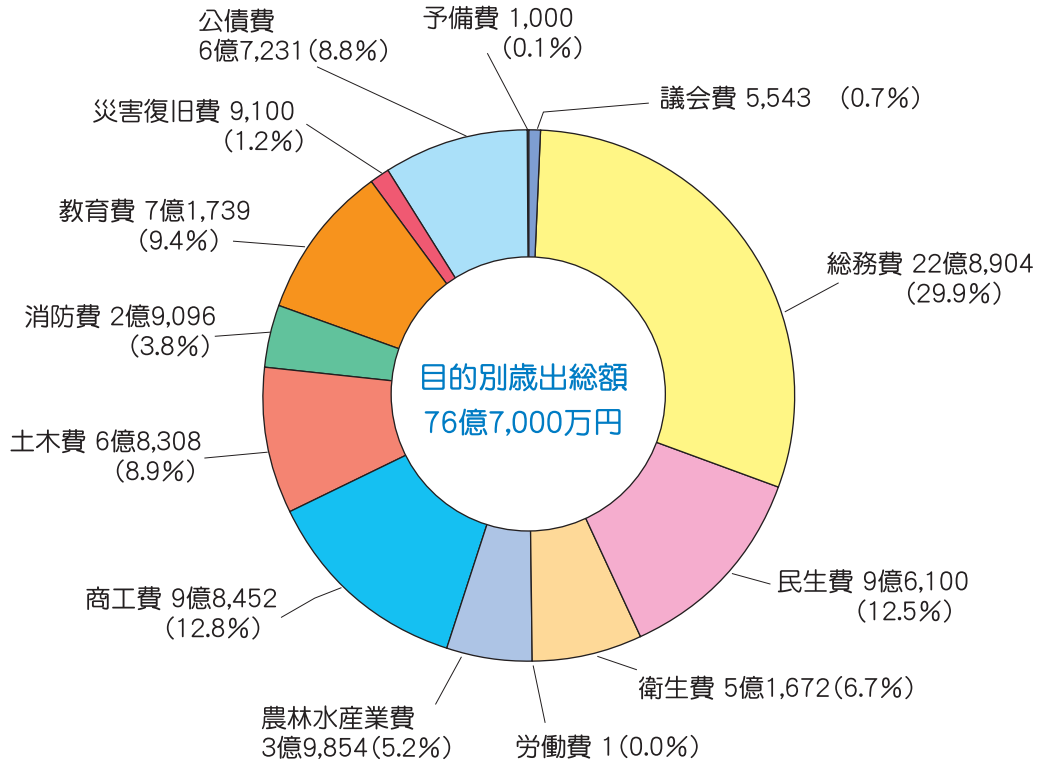
道路の開設や公共施設の建設など、大きな事業を実施するときに借りる資金。

会計別予算

(円)

会計名	令和2年度予算額 (円)	令和元年度当初額 (円)	前年度比	
			金額(円)	伸び率(%)
一般会計	76億7,000万	62億1,400万	14億5,600万	23.4
国民健康保険事業特別会計	8億6,475万	9億114万	△3,639万	△4.2
(事業勘定)	7億1,512万	7億5,718万	△4,206万	△5.8
(直営診療施設勘定)	1億4,963万	1億4,396万	567万	3.8
簡易水道事業特別会計	4億9,260万	3億9,066万	1億1,94万	20.7
生活環境施設特別会計	9,720万	8,727万	993万	11.4
介護保険事業特別会計	7億9,362万	7億9,044万	318万	0.4
後期高齢者医療特別会計	1億2,05万	9,859万	346万	3.9

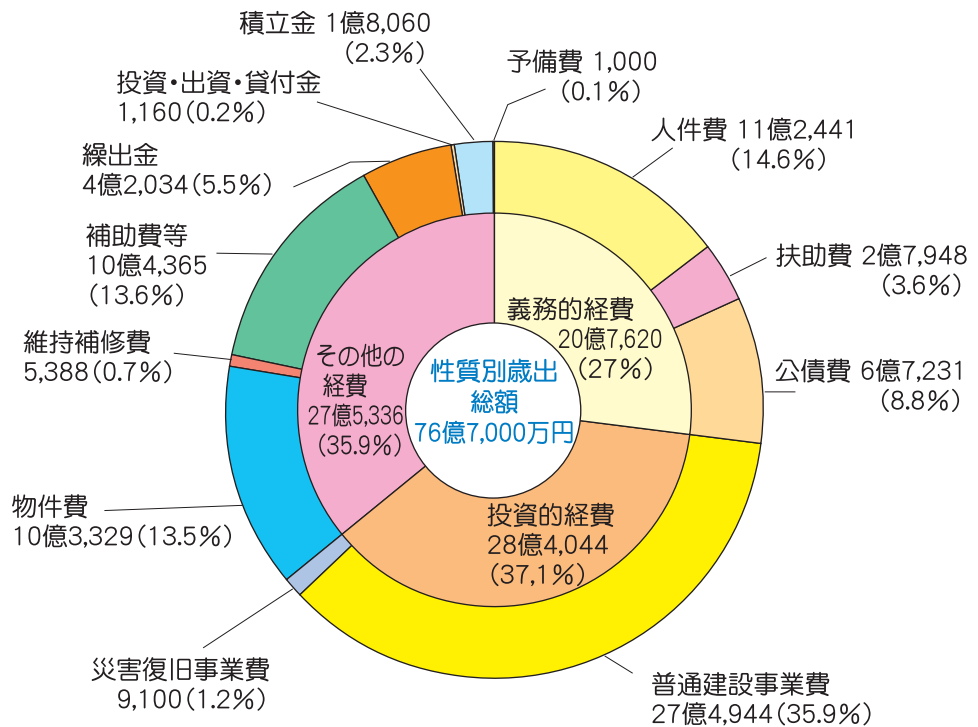
一般会計予算歳出構成



(単位 万円)

歳出(支出)

- 議会費
議員活動に要する経費。
- 総務費
役場庁舎や町営住宅の維持管理、交通安全対策、選挙などに要する経費。
- 民生費
社会福祉や児童福祉、老人福祉などの経費。
- 衛生費
予防接種や検診などの保健衛生やゴミの収集などの経費。
- 農林水産業費
農林水産業を振興するための経費。
- 商工費
商工業の振興や観光事業に要する経費。
- 土木費
町道の改良、維持管理や県道の改良事業負担金に要する経費。
- 消防費
消防施設等の整備に要する経費。
- 教育費
学校教育をはじめ、社会教育、体育行事の運営に要する経費。
- 災害復旧費
災害復旧に要する経費。
- 公債費
町債(借入金)の返済に充てる経費。



後期高齢者医療特別会計は、75歳以上の人口1千491人を対象に、低所得者に対する保険料の軽減分を含めた所要額を計上した。

生活環境施設整備特別会計は、合併処理浄化槽30基設置分及び新年度設置分を含めた852基分の維持管理費を計上した。

介護保険事業特別会計は、65歳以上の介護認定者に対し介護保険事業計画に基づき所要額を計上した。

簡易水道事業特別会計は、白石簡易水道整備事業及び中央簡易水道改修事業、公債費の償還を含めた所要額を計上した。

国民健康保険事業特別会計は、県への事業費納付金が前年度比約9.4%減の見込みであることから、令和元年度に改正を行った現在の国保税率は据え置きとする。財政調整基金の繰入れは計上していない。

元年度補正予算

▼一般会計補正予算(第4号)

各事務事業について決算見込み額に対する予算の過不足額を計上するとともに、国の補正予算により林道東津野城川線整備事業7千973万円、地方創生拠点施設整備交付金事業として行う天狗荘リニューアル事業4億6千165万円、小学校へのタブレット導入事業4千707万9千円他を計上。歳入歳出2億6千700万円を増額し、歳入歳出の総額を77億6千900万円とする。

可決(全員一致)

▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

事業勘定で235万円を減額、直営診療所施設勘定で294万円を減額。歳入歳出の総額を事業勘定7億5千489万7千円、直営診療所施設勘定1億4千403万6千円とする。

可決(全員一致)

▼簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

事業費等の確定により、歳入歳出730万1千円を減額し、歳入歳出の総額を3億8千336万5千円とする。

可決(全員一致)

▼生活環境施設整備特別会計補正予算(第1号)

事業費の確定により歳入歳出1千497万円を減額し、歳入歳出の総額を7千230万円とする。

可決(全員一致)

条例の制定・改正・廃止

▼津野町名誉町民条例

広く社会の進展、産業の発展、学術文化の興隆に貢献し、その功績が卓越なものに対し、名誉町民の称号を贈り、顕彰することを目的に制定するもの。

可決(全員一致)

▼津野町ふるさと振興基金条例

下元慶朗氏からの寄付金により、地域社会の発展のための基金を設置するため制定するもの。

可決(全員一致)

▼津野町監査委員条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正により適用条項の変更が生じたことに伴い改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員について、任用形態等により宣誓書の取扱いを変更できるように改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

小中学生医療費助成の対象年齢を、15歳から高校生世代(18歳に達する日以降における最初の3月末日まで)に拡充することについて改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

農地利用最適化交付金事業実施要綱の改正により、活動実績の算定方法が一律6千円から、活動内容等に依りて上限7千円までの支給が可能となったことに伴う変更及び会計年度任用職員に分類される外国語指導助手等を除くため改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町事務分掌条例の一部を改正する条例

母子保健法の改正により、令和2年4月1日から、健康福祉課に「子育て世代包括支援センター」を設置するため事務分掌を改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町戸別合併処理浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例

戸別合併処理浄化槽の設置について、支柱の有無により標準工事費が異なっていることから、分担金についても支柱の有無によりそれぞれ分担金を設定するもの。

可決(全員一致)

▼津野町給水条例の一部を改正する条例

空き家について、水道料金の納付期限を経過しても納付がない場合に、給水停止や給水契約の解除を行えるよう改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が定められたことにより所要の改正をするもの。

可決（全員一致）

▼津野町行政不服審査会条例を廃止する条例

行政不服審査法上の附属機関に属する事務について、共同処理が効率的であることから高知県へ事務委託を行うことに伴い関連議案を廃止するもの。

可決（全員一致）

▼令和元年度林道災第3号林道太夫畑線災害復旧工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 5千89万7千円
契約の相手方 (有)稲田建設
可決（全員一致）

▼津野町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

津野町議会議員の報酬月額を、議長25万円を27万5千円に、副議長20万円を20万9千円に、各常任委員会等委員長18万円を18万8千円に、議員17万5千円を18万3千円にそれぞれ改定するもの。 否決（賛成少数）

反対討論

大崎（芳）

今回の議員報酬を引き上げることに對して、津野町特別職報酬等審議会からの答申があった。報酬の見直しを求める要望は、議員の成り手不足を解消できる環境づくりへの配慮が必要と10人の議員が全員一致で提

出したが、答申は現在の議会の内容を十分には理解していない内容であり、現時点でこれを認めるわけにはいかない判断をした。30年9月議会に、議員の成り手不足について一般質問をした時には、7町村で71人の定数に76人の立候補で、小規模な町村ほど無投票が多くみられ、その町村の報酬額が比較的に少ないのが印象に残っている。

議員の成り手不足の中には、若い人が出れない、子どもを育てている世代には厳しい金額。年間の報酬を公務日数で割れば確かに十分な金額だが、目に見えない議員活動がたくさんある。また、4年に1度の審判を受けなければならぬ。当然、経費がかかる。以前にあった議員年金もなくなった。

合併して15年の間には定数が14人から10人になったが、報酬を上げていない。今回の議員8千円の基準は、4年間の実質経済成長率44%が基準となっており、15年が無視され、また、議員一人あたりの仕事の範囲

も広くなった。兼業ができると言われているが自営以外には決まりがある。何かにつけて傍原町と比較をされるが議員報酬も同様に考えるべきである。

津野町議会は議会改革により、両常任委員会や議会運営委員会、議会だより等の仕事が増えている。今年度からはタブレットを使つてのペーパーレスにも取り組み費用の軽減に努める。

「議会側から立案することにはほとんどない」と事務局は答えているが、一般質問等で実施している事業はたくさんある。

津野町は県内でもトップクラスの健全財政を行っており、この金額で賛成をすれば当然の間、上げる議論ができない。今一度、議員の活動を理解いただき、若い方の参加ができれば、体制を作っていくと考える。審議会の委員の方々には数回話し合つての結論で申し訳ない気持ちだが、反対意見とする。

西元

金額の問題ではなく、議会から町長に要望書を提出するに至つた経緯は報酬を上げて欲しいということから始まつたわけではなく、各地で無投票やなり手不足の声が聞かれるようになったことがきっかけである。

議会改革について約2年かけて東洋町や浦幌町、四万十町をはじめ様々な自治体との意見交換や勉強会を重ね、最終的に議会全会一致で結論を出した。議会をより活発に、そして多くの民意を反映するためにはできるだけ様々な分野・年代の議員がいた方がよい。そのためには若い人も挑戦しやすい環境を整えることも一つ。そして同時に議会の活動をもっと住民に知ってもらい、身近に感じてもらうための努力も必要だということ。休日議会の開催、議会だよりの工夫、議員出張懇談会の開催や募集、委員会活動や住民アンケート等をおこなつてきた。

議会には執行権がなく、チームプレーでもあるため、

議員は黒子のようなもので自分が言ったのできたと主張するのではなく、住民にとつていつの間にか良いものになっていけば良いのだと思つてやつてきた。しかし政策については一般質問の中で、議員が提案したことが、すぐにはいかなくても実現されてきたことは多々ある。そして少なくとも共に津野町を思い議論を交わしてきた執行部側には、それが伝わり審議会の委員にも伝えてくれると思つていたが、議事録を見ると事実とは異なる説明がされていることに情けない思いがした。事実を伝えた上で再度、審議会を開催して欲しい思いだが、今回の結果はそれも含めて自分の力不足だと思い、住民の代表である委員の皆さんの意見を真摯に受け止める。

しかし、事実に対する内容をもとに審議がなされたということと、私達が単に報酬を上げて欲しくて要望を出したと捉え仕方なく上げたということが議事録の中の「上げざるを得ない」

という発言から読み取れるため、根本が全く伝わっていないという理由から反対する。

賛成討論

高橋

津野町議会議員は、全会一致で要望書を提出した。現在、コロナの感染の影響により株価の下落、旅行業等を含め全ての事業のキャンセル、春闘のベースアップゼロ回答という非常に厳しい現実の中、議会議員報酬についての議論をしなくてはならず最悪な環境の中、3回の津野町特別職報酬等審議会が開催された。3回目に至つては2人の欠席があつたという事実、そしてこの審議会で要望書の中身を審議するにいたつては、欠落された事項が何点かあつている。

最初に、平成18年6月定例会で法定議員定数18人可能なところ、議会自らが行政改革推進の先頭に立つて、強い決意で14人から10人にする発議が出され、全会一致で認め現在に至つ

ている。平成20年までは議会の報酬額は3千万円で推移しているが、21年から2千400万円、22年2千100万円、23年2千万円、年々下がり、それに伴い期末手当等も減額している。トータルで1億5千万円近い減額であると思う。そういった実情が説明されてなかつたのは、事務方の大きな不手際であると思う。

次に、政策提言等がなされていらないといわれている部分。政治倫理条例以外は発議として行われてないことを審議会は問題にしているが、議員定数も発議でやっている。また、一般質問の中で政策提言が事業化もされている。政策提言は、毎回定例会でなされ、それが結実するか、不採択になるかは執行部の判断であるが、議員は努力をしている。それらも含め事務方の不手際で伝えられていないことが、会議録の開示によって見受けられた。

我々は一票一票の積み重ねによつて選ばれたにも関わらず、その判断を誤り要

望書で委ねたことがこういう結果になった。議員報酬を上げることにより、若者達が立候補出来る環境であると考えたなら発議として自らがやるべきであつたと後悔している。

私の昨年の議員報酬は約274万円。要望書にもある105日という数字で割ると、税引後の1日あたり2万円以上の計算になる。町民が高いか安いかわからない議論をしていくと当然高いと感じると思う。そういった観点からも審議会の皆さんは、真摯に検討したのではないかと感じている。

自らで決めるのではなく委ねたのが要望書である。議会人として一旦要望書を提出した時点で既にまな板の鯉であると私は考えている。審議会の答申に自分達の思いが通らないから反対というのは、議決権を持つ議会人として本来にあるまじき行為であると思つた。審議会の内容については不満もあるが、要望書を提出した以上、苦渋の選択ではあるが、審議会の意見を尊

重し私の賛成討論とする。

大崎(健)

議員報酬の引き上げについて、町長が任命した審議会委員7人から答申された。その結果は8千円の増額であつた。しかし引き上げ額が少ないと言ふことで反対者もいる。私は少額とはいえども答申には従ふべきであり賛成する。

▼津野町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

津野町長等の給料月額を、町長66万円を68万8千円に、副町長56万7千円を59万1千円に、教育長53万9千円を55万5千円にそれぞれ改定するもの。

否決（賛成少数）

反対討論

大崎（芳）

議員報酬と同時に上げようとした思いは予想もしていない答申になった。

町長・副町長・教育長の満額回答は片方への配慮が欠けており、近隣の栲原町とも比較をして、議員報酬と併せて勉強したく反対とする。

大崎（健）

特別職三役の報酬引き上げには反対する。引き上げる余裕があれば非正規の職員の待遇改善をすべきである。

賛成討論

西元

賛否両論あると思うが、

議事録を読む限り特別職の報酬は22年4月から減額されていることもあり、7人の報酬等審議会の委員に誰一人近隣の類似団体と同等に引き上げることに反対意見はなかつた。7人の委員がどれだけの思いで審議をしたかは分からないが、町長が直接任命した委員であるため、少なくとも特別職3人の職務内容や思いは十分伝わった上で審議したと考え、住民の代表として選ばれた委員の意見を尊重する。なお、金額については隣の栲原町より上というこ

とへの異論もあるが、人口規模も考慮したと推察する。ただ、財政問題は勿論大事だが、議会も含め特別職は人口が少ないから報酬も少ないではない、人口規模の小さい自治体は自主財源も少ない傾向にあり、住民サービスへの低下を防ぐための努力はむしろ難しい面もあることを付け加えて賛成討論とする。

その他の議案

▼行政不服審査法第81条第1項の機関の事務の委託

行政不服審査法上の附属機関に属する事務について、共同処理が効率的であることから高知県へ事務委託を行うもの。

可決（全員一致）

▼高知縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知縣市町村総合事務組合規約の変更

高知縣市町村総合事務組合の構成団体から芸東衛生組合及び高幡西部特別養護老人ホーム組合が脱退すること及びこれに伴う規約を変更するもの。

可決（全員一致）

▼高知縣市町村総合事務組合から芸東衛生組合が脱退することに伴う財産処分

高知縣市町村総合事務組合の構成団体から芸東衛生組合が脱退することに伴い財産処分をするもの。

可決（全員一致）

▼高知縣市町村総合事務組合から高幡西部特別養護老人ホーム組合が脱退することに伴う財産処分

高知縣市町村総合事務組合の構成団体から高幡西部特別養護老人ホーム組合が脱退することに伴い財産処分をするもの。

可決（全員一致）

▼津野町建設計画の変更

東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部改正に伴い、合併特例債を財源とすることができる期間が5年間延長され、合併年度から20年間とされたことから津野町建設計画を変更するもの。

可決（全員一致）

▼事業契約の締結

事業名 津野町定住促進住宅整備事業
事業場所 津野町黒川740番地5
津野町北川5千172番地3
合計面積1千777㎡

施設概要
（黒川）木造2階建て4戸
木造平屋建て2戸
（北川）木造平屋建て2戸

契約期間
令和2年4月1日から
令和28年3月31日まで

契約金額
変更前2億8千872万8千円
変更後2億9千410万7千円
契約の相手方
関西新洋米村株

可決（全員一致）

契約金額
1億8千760万9千720円
契約の相手方
津野きて家株

可決（全員一致）

▼財産（土地）の無償貸付

津野町定住促進住宅整備事業の実施に当たり、施設整備期間の間、無償貸付するもの。

無償貸付をする財産（土地）

津野町黒川740番地5

面積 1千248㎡

津野町北川5千172番地3

面積529㎡

無償貸付の相手方

津野きて家株式会社

貸付期間

令和2年4月1日から令和3年3月20日まで

可決（全員一致）

▼津野町道の路線の廃止

道路法第10条第1項の規定に基づき町道の4路線を廃止するもの。

可決（全員一致）

▼津野町道の路線の認定

道路法第8条第2項の規定に基づき町道の7路線を認定するもの。

可決（全員一致）

▼津野町名誉町民の推挙

住所 大阪府
氏名 下 元 慶 朗
生年月日
昭和17年7月31日



下元慶朗氏は、葉山西中学校を卒業後、大阪市の㈱万代百貨店に入社され、若くして副社長、社長、代表取締役会長を歴任。会社経営とともに関西経済界で活躍後、相談役を最後に退任され現在に至っており、その間、ふる里津野町に深い思い入れを持ち続けていただき、平成8年から平成28年までに合計2千万円のご寄付を子どもたちの健全育成と人材育成に、さらに去る令和2年2月3日には、地域社会の発展を目的に1億円のご寄付をいただきました。中学卒業後、見知らぬ土地で自己研鑽と人脈の構築に励まれ、大企業のト

ップに上り詰めた下元慶朗氏の、ご努力と故郷への惜しみない思いは、津野町民の誇りとなるべきものであり、津野町民一同で感謝の意を表したく津野町名誉町民第1号に推挙するもの。

同意（全員一致）

賛成討論

高橋

下元慶朗氏には、多大な御寄付をいただき、津野町にとつて本当にありがたいことである。

特に、ふるさとセンターの創立時には、直販店、ふるさと小包、販路の開拓、様々な分野においてご指導いただき現在に至っている。また毎年、春と夏にはセンターの運営について厳しくご指導いただいた過去も思い出される。

毎年100万円、それが2千万円と膨らみ、現在1億円を新たに御寄付いただいた。このような立派な方に名誉町民の称号を受けていただけるよう心より願っていることから賛成討論とする。

議会のうごき

2月

- 2 議会運営委員会（本庁・委員）
- 5 第1回津野町議会定例会開会（本庁・議員）
- 9 お伊勢踊り保存会奉納披露（町内・議長）
- 13 産業建設常任委員会（町内・委員）
- 20 全員協議会（本庁・議員）
- 第40回高幡町村議会議長会臨時総会（高知市・議長）
- 高知県町村議会議長会第71回定期総会（高知市・議長）
- 高知県町村議会議長会（高知市・議長）
- 高知市・議長大（高知市・議長）
- 高知市・議長大（高知市・議長）
- 高知市・議長大（高知市・議長）

- 6 休会（3月9日）
- 10 一般質問（本庁・議員）
- 11 議案審議（本庁・議員）
- 12 議案審議・閉会（本庁・議員）
- 18 第3回津野町夏まつり実行委員会（本庁・議員）
- 24 津野山広域事務組合議会（西庁・議長）
- 27 高幡東部清掃組合議会定例会（中土佐町・議長）
- 9 議会、たより発行調査特別委員会（本庁・委員）
- 14 須崎地区地域安全協会監査（須崎市・議長）
- 16 議会、たより発行調査特別委員会（本庁・委員）
- 20 全員協議会（本庁・議員）
- 24 津野町商工会理事会（商工会・議長）

3月

- 高幡身体障害者支援施設組合議会定例会（須崎市・議長）
- 高幡広域市町村圏事務組合議会定例会（須崎市・議長）
- 高幡消防組合議会定例会（須崎市・議長）

**固定資産評価審査
委員会委員の選任**

任期は令和2年3月23日から
令和5年3月22日まで

西森裕保氏（再任）
中土佐町久礼
昭和27年生



大崎 誠氏（新任）
津野町杉ノ川甲
昭和38年生



黒川満洋氏（新任）
津野町北川
昭和32年生



農業委員会委員の任命

任期は令和2年6月1日から
令和5年5月31日まで

石川幸久氏（新任）
津野町杉ノ川乙
昭和23年生



宇都宮京子氏（再任）
津野町北川
昭和33年生



川村実男氏（再任）
津野町三間川
昭和55年生



松岡保宏氏（再任）
津野町船戸
昭和28年生



田部節男氏（新任）
津野町赤木
昭和21年生



大地勝義氏（再任）
津野町芳生野丙
昭和24年生



戸田和宏氏（再任）
津野町桑ケ市
昭和44年生



教育長の任命

任期は令和2年4月1日から
令和5年3月31日まで

久寿久美子氏（再任）
津野町芳生野甲
昭和31年生



教育委員会委員の任命

任期は令和2年3月23日から
令和6年3月22日まで

嶋本隆男氏（新任）
津野町芳生野乙
昭和26年生



専決処分の報告

令和元年度津野町簡易水道（白石1工区）施設整備工事請負契約金額を223万3千円増額し、1億2千433万3千円とするもの。

令和元年度津野町簡易水道（白石2工区）施設整備工事請負契約金額を486万2千円増額し、5千766万2千円とするもの。

令和元年度第8―1―2号上桑ヶ市地区飲料水供給施設整備工事請負契約金額を315万7千円増額し、5千320万7千円とするもの。

平成30年度第4―2号町道神ノ木前線（橋梁下部）改良工事請負契約金額を385万5千600円減額し、4千691万5千200円とするもの。

陳情(要望書)の審査

津野町内の自伐林家に対する出荷奨励金等の補助制度創設のお願い。

(決定) 趣旨採択

賛成討論

令和2年度一般会計予算について

西元

子ども条例をはじめ津野町の色を出そうとする積極的な姿勢、住民目線に立ち将来を見据えた行政を考慮した新規事業も上がっている。その姿勢が後に続く職員に伝えられていることは素晴らしい。ソフト面は比較的、費用がかからないが時間がかかり目に見えないことから理解されにくいデメリットがあるが、私たちがその努力を住民に伝えることはできる。ソフト面の充実があつてこそハードが活かされる。大型事業も多い大変な時期ではあるが、後に続くソフト面を熟慮して双方合わせた執行にあたることを期待し賛成討論とする。

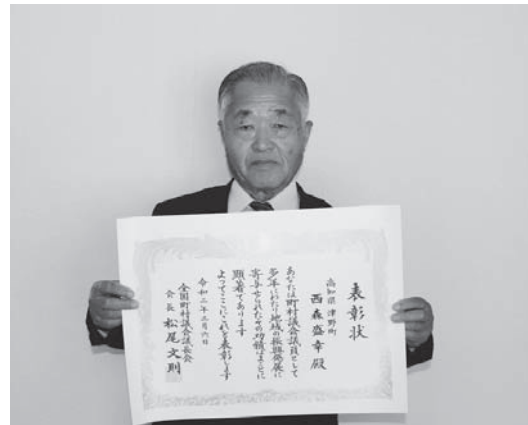
全国町村議会議長会表彰

自治功労者表彰

令和2年2月6日全国町村議会議長会より、議会議員として15年以上在職した功績が認められ表彰されました。



高橋眞一郎議員



西森盛幸議員



池田町長

町長 施政報告

全世界に広がりを見せている新型コロナウイルスの感染拡大防止を受け、津野町でも感染症対策本部会議を行い、各種行事の中止や延期、内容の精選と時間短縮等の方針を決定した。感染の拡大や長期化が懸念される事を踏まえ、町民の健康と安全を第一に対応していく。

第2期まちづくり計画

思いやりと協働の

まちづくり

「奥四万十の郷」「しらいし」

令和元年に「ふなと」が設立され活発な集落活動が広がっている。

集落には高齢化などによる行事の衰退や、農地の荒廃化などの課題に職員が地域に足を運び、実情を把握する事で行政が支援する協働のまちの実現に取り組み **地域資源を活用した**

豊かなまちづくり 総合商社化

「ふるさとセンター」「満天の星」「天狗荘」の3社を合併し、金融機関や民間企業にも出資を受ける。

今年度は地方創生推進交付金を有効活用し、企業利益を公益事業に展開する取り組みを強化する。

農業振興

直販農家の営農指導とともに新規直販農家の育成と出荷力の向上に努める。

林業振興

森林環境譲与税を活用し、林業従事者の確保、森林の適正な整備、木材利用の推進に取り組み。

観光振興

「天狗荘」に、口径45cmの大型望遠鏡を備えた天文台と、悪天候でも天狗の星と津野町の自然や歴史を映像で体

験できるプラネタリウムを整備し、星空を楽しむ施設として令和3年初夏にリニューアルオープンを目指す。

自然と調和するまちづくり 防災・減災対策

自主防災組織率の向上を目指し、補助金を利用した防災資機材の整備に努める。

デジタル防災行政無線

既存の防災行政無線が令和4年11月で使用できなくなるため全面改修工事を実施。豪雨時に聞きづらいたわられている事や、高齢者等の災害弱者の対応も含め、戸別受信機を全戸に貸与配布する。

避難支援対策

平成25年に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者の名簿作成が義務付けられた。情報提供に同意を得られた全員の個別避難行動計画を避難関係者と作成し、災害に備える。

簡易水道整備事業

近年の過疎化や高齢化により飲料水の地区管理が困難な傾向にあるため、複数地区に事業を導入し簡易水道化を加速させる。

移住定住対策事業

町内27企業が参加し、白

河瀬地区に6世帯、新田地区に2世帯の計8世帯の住宅を、PFI方式による賃貸住宅建設に着手し来年3月の完成を予定。

ゴミのリサイクル推進

ビン・カン等の収集方法を一元化した。今後は、粗大ゴミ・ビン・カン等を一括集積するストックヤードを整備する。

健康で

笑顔あふれるまちづくり 子育て支援

妊娠期から子育て期まで支援をする「子育て世代包括支援センター」を開設する。

高齢者福祉施設

葉山荘・高原荘ともに厳しい運営が続いており、施設のあり方や運営が課題。

重症化予防対策

糖尿病性腎症患者の抑制を図り、今後は高血圧症や脂質異常症など生活習慣病患者の栄養指導を順次行う。

健やかで

心豊かなひとづくり

学力向上対策
引き続き学力向上対策を推進し、学習支援体制の連携強化を行う。

幼保無償化

新たに0歳から2歳まで

の保育料、及び3歳から5歳までの給食費・おやつ代を制度の基準に基づき無償とする制度を創設する。

社会教育

人づくりや地域づくりを推進するうえで、社会教育活動を活性化しなければならぬ。活動団体の意見を集約し、自ら事業を企画・実施できるよう組織づくりやサポートを強化する。

効果的で健全な行政財政運営によるまちづくり

合併以来、人件費の削減・公債費の繰上償還・小学校の統合等、行政改革を経て健全な状況を保っている。しかし、自主財源が乏しい本町では交付税に依存しており、国の動向に注視しながら慎重な財政運営に努めていく。

人材育成

津野町の発展には住民の力は勿論のこと、職員の果たす役割も重要。若手の職員を中心に、業務の説明研修会を開催し発表する経験を通して、各々の知識レベルの向上とともに人材育成に取り組み。

諸般の報告

国保税

津野町では国保税の賦課方式を見直し、資産割を廃止して税率を改正している。国保財政は不安定要素が多いが、本年度は税率の改正は行わず動向を見ていく。

高額寄付者への顕彰

本町白河瀬出身で大阪府在住の下元慶朗氏から申し出があり、2月3日に1億円の振込みをいただいた。

「多世代交流の集いの場づくり」などの基金を設置して活用したい。

ごみ処理

クリーンセンター四万十は稼働開始から20年以上経過し、建て替え又は基幹機器の大規模改修の時期がきている。ごみの処理費も高幡東部清掃組合と比較しても割高であり、東地区と同様に処理ができるよう協議をしている。

せいらんの里

船戸都地区での運営を断念。活性化委員会・せいらんの里・地域住民との話し合いの結果、満天の星本社横の町有地で設計を再開した。



久寿教育長

教育行政方針

他者との関わりから他人を思いやり、感謝する心を育てながら、国際社会の中で主体的に生き抜いていくこととする子どもたちを醸成する。

幼児教育

豊かな心とやる気をもち、たくましく生きる津野っ子の育成。

一、「豊かな心と丈夫な体の育成」豊かな体験活動を通じて基本的な生活習慣を形成しながら生きる力の基礎を培う。

二、「こども園から小学校生活へのスムーズな連携教育」幼児期の教育で育まれる資質・能力を小学校生活で、主体的に自己を発

揮し、学びに向かうことができるようにつなげる。

三、「保育の質を高める」子どもの姿や地域の実態に応じて教育課程を編成し、実施・評価し改善していくカリキュラムマネージメントを確立する。

学校教育

重点目標

一、夢や希望を持ち、心豊かでたくましい子どもの育成。

二、自ら学び、考え、行動できる子どもの育成。

6つの重点施策

①豊かな心の育成

②確かな学力の育成

③たくましい体の育成

④家庭、地域と教育の向上

⑤社会に開かれた教育課程

⑥こども園から中学校までの連携の強化

令和2年度は子ども達の将来に期待する人間像を意識し、新たに探究心、生活、総合的な学習の時間の研究を重ね推進する。

一人一人の子どもにも興味関心を持たせながら、主体的に課題を追求していく楽しさや活動の喜びを味わわせるとともに、地域一体を学習の場として推進していく。

生涯学習

社会教育委員会を中心に若い世代を取り込みながら、時代のふさわしい社会教育の拡充を図り、活気のある町づくりにつなげる。

一、生涯にわたって活力に満ち、文化的な生活を送るために学習や文化活動、スポーツ活動が行えるような環境づくりを目指す。

二、知識や技能、社会学習の成果を家庭や地域の中で活かし、主体的・自主的な生涯学習が展開できる環境づくりに努める。

三、先人が育んだ伝統文化や芸能・文化遺産を健全に保全するとともに、津野町の文化を大切にする社会教育を目指す。

津野山学

昨年度より、豊かな自然・固有の歴史・文化・伝統などを学習し、郷土への誇りや愛情を深める取り組みを開催している。

現在、若い世代に受け継いで欲しい食文化について学習し、郷土料理の良さを再発見している。

スポーツの普及と振興

スポーツ少年団や中学校体育連盟などに働きかけ、

葉山総合センターでは自主開催や連盟公認の大会、県内外の合宿や交流試合等に活用。

東京オリンピック公式競技「ボッチャ」の体験を通じて健康づくり・体力づくりにつなげながら広めたい。

精華小学校

保護者のアンケートを3年間実施。元年度に複式学級になり意識に変化が見え始めてきた。

統合は世の流れという意見や学校がなくなると寂しい、地域が寂れるなどの意見がある。

引き続き、保護者や地域住民との協議、懇談を密にしていこう。

不登校やいじめ

年間30日以上長期欠席者は中学校に3人。

いじめの定義が拡大された事や、学校における積極的認知により、2学期末で27件であるが重大事故事例の報告はない。

進路状況

葉山中学校卒業予定者26人・東津野中学校卒業予定者16人の42人全員が進学を希望。



大崎 健夫

一般質問

問 大型ハウス団地造りを
答 検討の価値はある

大崎

農業は本町の基幹産業である。しかし従来型の稲作中心の集落営農を追求しても前は開けない。

町内には集約可能な農地がいくつかある。大型の農業用工業団地化での大型ハ

ウスを展望した取り組みを考えてはどうか。

戸田産業課長
先進地の視察も含め検討する価値はある。

問 観光立町を目指して
答 総合的に取り組む

大崎

先のテレビ放送でもあったように、四万十川の源流点が「プラタモリ」で紹介された。このタイミングを利用して観光の町「津野町」を売り出すべきである。そのためには観光地へのトイレの設置は不可欠である。総合的に考えよ。

池田町長

観光立町を目指すために意見を参考にして取り組む。

問 本庁舎の増築は
答 総合的な判断を

大崎

災害対策本部の司令塔をつくるために本庁舎の増築を考えているとのことである。西庁舎の活用も含めて総合的に判断すべきである。本庁舎の増築については賛同できない。

池田町長

本庁舎も地区38年経っている。合併特例債の活用できるところに総合的に考えねばならない。当然西庁舎のあり方についても議論していく。消防団員や、災害時の重機運転者などマンパワーの育成は重視していく。

大崎

安倍内閣の地方に対する施策の二本柱は「アベノミクス」の経済対策、「地方創生」であった。これらの施策は津野町に対してどのような波及効果があったと思うか。

池田町長

目に見える形での波及効果は無かったが移住定住者は思ったより増えた。



問 地方への波及効果は
答 あまりなかった

問 米軍機の超低空飛行中止を

答 県が主導で中止の要望を



石川 寿朗

一般質問

2月に本山町で低空飛行が確認された同型の米軍輸送機



石川

高知県内では、長年にわたり超低空飛行訓練を行う米軍機が目撃され、過去に4回もの墜落事故が発生している。津野町内でも、昨年秋ごろから度重なる低空飛行による爆音が、地域住民に不安を与え続けている。町村会で、関係自治体の首長と情報を共有・協議し、政府に中止を求める要望活動をしています。

池田町長

低空飛行による目撃情報は、町全域多数得ている。私自身も、昨年9月の夜中に爆音を聞き飛び起きて夜空を見上げた。町民の不安も非常に高まっていると思う。県は、昨年12月に外務大臣・防衛大臣にこの件の中止を求める要望書を提出している。県全域の課題であり、各首長からの情報をもとに、県が主となって中止の要望を継続。

石川

電気料削減、長寿命等のため、他自治体では公共施設照明のLED化が進んでいる。また、2020年から人の健康被害や自然環境保護のため、水銀を使用した製品の製造や輸出・輸入



水銀灯照明の既存の施設
(新土居健康管理センター)

問 公共施設の照明をLEDに
答 計画をもとに順次進めたい

が廃止されている。町内公共施設も計画的にLEDに交換しては。

池田町長

総合センターのアリーナなど、近年の新築施設についてはLED照明にしている。

既存の体育館等は、多額の費用がかかり経費に対する支援が必要である。大規模改修は、国費財源措置の可能性が高い。B&Gの体育館とプールは、B&G財団の支援に期待したい。本年度に、各公共施設の長寿命化計画を策定して、その計画をもとに優先順位を勘案し、修繕箇所も含め順次LED化を進めたい。

石川

町内には、未婚の青年が沢山いる。未婚者から「出会いの場」が少ないとの声をよく聞く。高知県内の約半数の自治体が婚活イベントを開催している。津野町も実施しては。また、旧村時代に、社会教育の一環で、青年教室での宿泊研修、青

年のバスや船などが実施されていた。若者の学びの場集いの場、出会いの場として再度復活を。
池田町長
若者への出会いの機会の提供は非常に重要だと考えている。今年度、高知県青年団協議会主催の青年の交

問 若者に出会いの場を

答 広域での交流がベストでは



石川

新型コロナウイルス肺炎患者が、世界的に拡大中だが今後、町内感染者がでる可能性もゼロではない。各種行事の中止等の初期対応をしているが、非常事態に

問

新型コロナウイルス対策は先手で町の対策本部で協議

流イベントを計画していたが、コロナウイルスの関係でやむを得ず中止した。全国の自治体では、様々な知恵を出し工夫し交流イベント等実施されているが、若者の余暇利用の多様化と

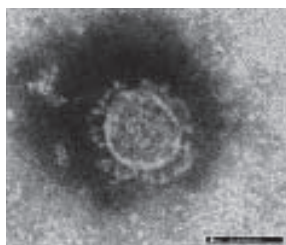
小規模な自治体がゆえに地元参加者が少なく断念した自治体もある。内閣府の青年の船や各青少年自然の家の事業へは、参加を呼びかけたい。また、高幡広域市町村圏事務組合

(5市町で構成)では、継続して婚活事業を実施されており、参加しやすくベストではないかと期待している。

備え、可能な範囲で職員が対応できるケースマニュアルを用意しては。また、厚生労働省が公表した感染対策Q&A(問答集)を参考に、津野町版Q&Aを作成し全戸配布を。

池田町長
現在、県の情報を得ながら、対策本部会議を開き対策を講じている。
今橋健康福祉課長
感染相談については、外来での受診調整、PCR検査を行い入院の可否が判断される。現在、高い専門性を有することは、県等の相談センターや保健所に繋ぐ対応をしている。近日常に感染対策のQ&Aなどのパンフを作成し町民にお知らせする。

新型肺コロナウイルス
感染対策 Q&A



厚生労働省

問 新知事に何を期待

答 支援の強化を



大崎 芳章

一般質問



防災拠点施設

大崎

尾崎知事の後継者として
総務省官僚の豊富な経験を持
つ浜田せいじ氏が知事に就任
した。

町長は高知県のため津野町
のため、何を期待して応援し、
今までに何を訴えてきたか。

池田町長

前知事の3期12年、地産
外商・移住定住促進・観光
振興等、県政浮上へ着実に
動いてきた。

特に産業振興計画・長寿
県構想・中山間対策・教育・
防災等の政策は継承し、発
展する事に期待している。

本町にとって人口減少、
高齢化で集落機能を維持す
る事が難しくなっている。

健康づくりや見守り・防災
活動等、きめ細かな集落支
援策を打っていく。

今、課題になっているの
が介護・医療・保育・教育
部門の人材確保。特に介護
は賃金に格差がないにもか
かわらず都会に流れている。

中山間対策、産業振興、
人材確保対策についての支
援に強化を求めていく。

大崎

町長としての任期が1年
を切った。3期の感想は。
4期目出馬をするか、後
継者は。早々に公表をする
ことも必要と思うが。

池田町長



あつと言っ間3期であつ
た。合併して4年、津野
町の認知度も低く、発展
に向けた課題が山積して
いる時期に就任した。町
を元気にしようと町民の
声も聞きながら職員と推
進してきた。特に地域づ
くりは積極的に取り組
み、産業振興を含めて誇りと
自信、やる気が見え始め
てきたと思っている。
令和2年度の予算を始め、
議案を認めていただき事
務事業をスタートするこ
とを第一に考えており、
4期目のことはまだ考え
ていない。

問 4期目の出馬は

答 事業実施に全力投球

問 町職員の地元参加を

答 活動に関わる重要性

池田町長

勤務時間外での強制は難しいが役場職員であることは事実。

施政方針で述べたとおり、地元の活動に積極的に参加し住民との交流を深め、意見交換をする事で地域の実態・実情を知り、問題や課

題など多様な情報を収集して施策に活かすのが職員であると思っている。地域に足を運び、様々な分野において地域活動に関わっていただくことの重要性を職員にも求めながら、2年度の体制づくりを考えていく。



宮谷地区の春薬師

大崎 全国的に若い人の減少で、地域の活動や伝統行事の継承・伝承が難しくなっている。
町職員として、住んでいる地区に入って活動に参加することは基本と思うが。

大崎

役場の本庁舎・西庁舎にAEDが置かれているので、職員も取り扱いや心肺蘇生の訓練をしている。
いざという時のために止血や被覆のできる外傷セットを置き、貸し出しができないか。置く事で職員も手当の学習をする機会ができるが。

岡崎総務課長

現在、町内のイベントの実施に救急セットや担架等の貸し出しはしていない。しかし、普段から利用することで取り扱いに慣れることや、応急止血の資機材や軽量担架の整備については前向きに検討する。
資機材の内容や維持管理等については連携協議しながら進める。



被覆セット

問

役場に被覆セットの

貸し出しを

答

整備に前向きに

問 本年度の発注見通しは
答 町発注分は切れ目なく



中山 昭英

一般質問



地域を守る橋梁整備（八幡橋）

中山

建設工事は、地域の活性化と雇用の安定に多大の影響を与える。東北の震災、熊本県・北海道の災害から一定の年数が経過したが、地方への配分は増えているのか。本年度の発注見通し、そして県工事分も分かる範囲で聞く。

池田町長

災害時に備えた道路インフラ整備や、災害復旧対応の重要性からも安定した公共事業の確保が必要であり、建設業界にも更なる経営改善で事業の進捗に協力をお願いしたい。

高橋建設課長

町発注工事は、繰越分が約6億円、今年度分の普通建設事業が約10億円。県発注工事は、特殊工事を除いた今年度分が約10億円、繰越分が7億円の合計約33億円となっている。
町分は切れ目のない発注に努め、4月〜6月も月に5件、約一億円程度の発注を考えている。

中山

何度も産業振興の推進を訴えてきたが未だに進展していない。

津野町で一番の目玉商品になる可能性があった土佐ジローも途絶えてしまった。原因と町の支援の状況、再開への取り組みを聞く。

池田町長

直販事業の収入源の一つとして推進してきたが、昨年の12月で生産が途絶えた。原因は、採卵率の悪さ、廃鶏処理の問題、飼料の高騰、協会の飼育ルール等が考えられる。
課題は見えており、消費を伸ばして経営の安定を確保すれば可能性はある。今後も県の動きを見ながら探っていく。

問 土佐ジローを守れ
答 探っていく



戸田産業課長

土佐ジローのブランド力は非常に高く、新規の生産者がいれば現状を共有しながら新たな取り組みに支援していくのは可能。

問 土佐ジローで活性化を

答 様々な形で挑戦する



土佐ジロー鍋

中山

県内各地で食の取り組みが行われている。食の良さはリピーターとなってくれる宝箱である。

土佐ジローを食材とした商品開発で町の活性化に取り組み、流通の展望と安定収入の確保を示して生産者の育成に努めては。

池田町長

土佐ジローを行政としては町の特産品としたいという思いはあるが、ふるさとセンターで取り組んだが普及しなかった経緯もあるので様々な形で挑戦をしていく必要がある。

中山

林道整備が進み、観光生活道、迂回路等の利便性がある路線も多くあり、維持管理が大変になっている。年間の作業量を考慮すれば人員増の対策を講じる必要がある、雇用の創出につながるのではないか。

高橋建設課長

林道の維持管理の必要性は増えており、町で4人を直接雇用して管理している現状であるが、もう一班増やすとすると約一千万円が必要となるので業者委託をしたい。

雇用の創出は、業者側で年間を通じての雇用が図られると考えている。



問 山で雇用の創出を
答 維持管理を業者委託で

問 放課後子ども教室
の今後は

答 統廃合に併せて考える



西元和代

一般
質問

西元

精華小学校と葉山小学校は統合についての協議を重ねている。放課後子ども教室は、例えば統合が進んでも内容の維持または充実を図るべきだと思うがどう考えているか。

久寿教育長

統廃合が決まれば、子どもの人数が増え学校の敷地内での実施が難しくなる面もある。できるだけ学校の近辺でとは思うが、充実した取り組みを行うため、空き教室以外の実施も考えていきたい。



精華小学校
放課後子ども教室

西元

任期満了の地域おこし協力隊の起業や定住には、町民が応援しようという気運の高まりが必要。そのために、住民に知ってもらう機会、接点が必要では。

池田町長

協力隊の皆さんが自ら町民と交流でき、協力隊が持つネットワークを活かして全国へ波及させるための拠点を作りたいとのこと。それに期待をし、実現に向けた支援をしたいと考えている。

問 協力隊員を知ってもらおう
答 隊員主体の交流の場を支援

岡崎企画課長

今期の協力隊は担い手が不足している西地域に居住地を設け、業務上指定された地域で活動しているため、広報でしか知らない住民もいると思う。活動は自主性を尊重しているが、地域からも相談や声をかけていただけると活動も広がり定住にも繋がると考える。



集落活動センター しらいし

問 ファミリーサポートセンターの設置を目指せ
答 まずは組織づくりを

西元

子育ては経済的支援だけでなく近くに頼れる存在が求められる。ファミリーサポートセンター開設の意向はないか。

四万十市ファミリーサポートセンター事業委託先のNPO法人は、同時に無償貸与を受けた児童館を拠点に病児・病後児の預かり等様々な活動を行っている。経緯や取り組みを学ぶことから初め、可能なものは集約し、住民が分かりやすく使いやすいものを作るべき。



池田町長

ファミリーサポートセンターへのニーズは多いと思う。令和3年度の子育て支援センター設置に向け四万十市の方法も含め勉強しながら進めていく。様々なことを別々に実施するのではなく、全てができる組織・場所を作っていくのがベスト。住民力・地域力の育成を第1テーマに、思いを込めて取り組んでいきたい。

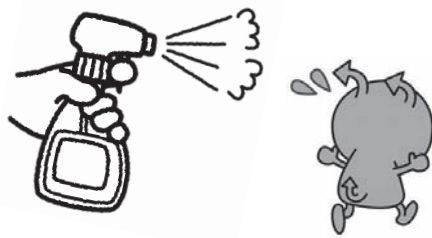
久寿教育長
子どもがより楽しく過ごせ、保護者が安心して勤務ができる状況を作るために、今後勉強をしていきたい。

ちよつとひと言



連日のように新型コロナウイルスに関連する情報が新聞やテレビのニュースで流れ、聞き慣れない言葉に戸惑い、不安がより高まりますよね。
そこで、ニュースで使われる分かりにくい言葉を整理してみました。

- ・**クラスター**
感染者の集団
- ・**パンデミック**
広範囲に及ぶ流行病
- ・**ロックダウン**
首都封鎖という意味で使われている。これにより外部への感染拡大を防止するという目的で行われる措置
- ・**オーバーシュート**
予測よりも感染者が爆発的に急増することを意味する。



「一日も早い終息をお祈りいたします」

読者クイズ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。

答えは今月号の議会だよりの中にあるよ!!



1. 世界中に拡大している新型コロナウイルス①○○○患者。
2. 学校の統廃合に併せて教える放課後子ども○○○○②。
3. 4期目のことは考えず事業実施に③○○○投球すると公言した町長。
4. 町の○④○○○工事は線越分は約6億円。今年度分の普通建設事業は10億円。
5. 安倍内閣の施策、アベノ○⑤○。

前回の答えは「ふくわうち」でした。厳正な抽選の結果、下記の5名が当選されました。おめでとうございます。

お寄せいただいた感想ご意見の一部紹介

★今年は傍聴に行くつもりです。

★私は幹細胞提供者です。検査から入院、かなり休みました。家族側としてもドナーになってくれる方が多い方が嬉しいですし、支援制度があればすごくありがたいです。

★津野町のためにいろいろとありがとうございます。

官製はがきに、住所氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、感想など一言をご記入のうえ、5月末までに下記の事務局までご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方にプレゼントをお送りいたします。なお、当選者は次号にて発表いたします。もしご応募下さい。

残念ながら今回当選されなかった方も、またチャレンジして下さいね!

当選者

西黒川	明神	満桜	様
樺ノ川	大崎	裕樹	様
樺ノ川	大崎	昭	様
赤木	中山	良介	様
杉ノ川	片岡	和志	様



津野町議会だより 発行調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	大崎芳章
委員	中山昭英
委員	松尾信壽
委員	西森盛幸
委員	川上智子

編集後記

中国湖北省で発生した新型コロナウイルスは世界中を震撼させています。イタリア・韓国・米国と多くの国に感染し、日本も同様で大変な事になっています。学校の休校や卒業式の簡素化、高校野球の中止、オリンピックの延期、商業についても飲食店の閉店やホテルのキャンセルの閉店やホテルのキャンセルという結果になっています。いまだに薬も出ていない状態であり、いつまで続くのかわかりません。また、2年続いた台風被害があり、いまだ仮設住宅に住んでいる人が多くいます。政府の6年9カ月ぶりの景気回復の文言が削除され、これからの世の中どうして良いかわからない状態が続きます。さて、議会だよりが届く頃には、暑い初夏が始まりそうですが、町民の皆さんもコロナに負けぬよう、お身体を大切に！ご自愛ください。

(文責 松尾信壽)

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

〒785-10201

津野町永野四七一

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。